

独立行政法人日本スポーツ振興センター
平成 30 年度第 2 回契約監視委員会審議概要

1 開催日

平成 30 年 6 月 8 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分

2 開催場所

本部事務所特別会議室

3 出席委員（敬称略）

委員長 清水 幹裕（弁護士）

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

4 議題

（1）平成 30 年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

（2）2 か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の点検について

5 審議概要

（1）平成 30 年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

担当部署から、平成 30 年度独立行政法人日本スポーツ振興センター調達等合理化計画（以下「平成 30 年度調達等合理化計画」という。）の決定までのスケジュール及び平成 29 年度独立行政法人日本スポーツ振興センター調達等合理化計画（以下「平成 29 年度調達等合理化計画」という。）からの変更点について説明を行い、その後、委員による点検を行った。

担当部署による説明の内容は、次のとおりである。

- ・平成 29 年度調達等合理化計画からの継続実施課題としては、「一者応札・応募の改善」、「随意契約に関する内部統制の確立」、「契約マニュアルの充実」及び「契約事務説明会の開催」を記載した。
- ・平成 29 年度調達等合理化計画に掲げていた競争性の拡大のための「オープンカウンタ方式の実施」及び「不祥事の発生未然防止・再発防止のための取組」については、昨年度までの取組で既に定着したと考えられるため、30 年度も引き続き実施するが、平成 30 年度調達等合理化計画には記載はしていない。また、「総合評価落札方式及び企画競争の運用見直し」と「建設工事契約の適正化の推進」についても、実施済みであるため、平成 30 年度調達等合理化計画には記載していない。
- ・平成 30 年度調達等合理化計画における新規課題としては、第 4 期中期計画に基づき、「消耗品等の共同調達の推進」及び「規則、規程等の見直し」を記載した。なお、共同調達については、既に 29 年度に 2 法人とコピー用紙の調達を実施しており、30 年度は JSC が事務局となって実施する予定である。

また、委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

(質問) 消耗品等の共同調達については、調達価格の低減につながらないこともあるかと思われるが、どの程度の効果が見込まれるのか。

(回答) 共同調達等の有効活用については、「独立行政法人における調達等合理化計画策定要領（平成 28 年 2 月 2 日総務省行政管理局）や第 4 期中期計画を踏まえ、平成 30 年度調達等合理化計画において新規の課題として掲げることとした。29 年度に実施した共同調達においては、前年度と比べて調達価格が 1 箱当たり十数円程度低減された。

(意見) 事務的な労力等も考慮しながら、調達価格の低減に効果のある範囲で実施していただきたい。また、現在共同調達を実施している品目以外の調達についても実施を検討してはどうか。

(2) 2 か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の点検について

29 年度において一般競争入札を実施した結果、2 か年度連続一者応札となった 9 件について、3 件ずつ内容の点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

① 乳酸測定器（ラクテート・プロ 2）用キットの購入

② 衛生材料（医科）の購入

③ スポーツ科学形態・代謝画像情報解析システム関連機器の保守点検

(質問) ②について、辞退者へのヒアリング結果を参考に、調達品目の一部を分離発注することも含めて来年度以降の対応を検討するとのことであるが、そのようにした場合、品目が少なくなり単価が上がる可能性があるのではないか。

(回答) 一者応札・応募の改善の取組の参考として、購入する品目の一部が固有のものであり、そのために競争性が阻害されている場合については仕様の見直しをすることあるので、本件が該当する事例であれば、仕様書の見直し、調達の分離等を検討したいと考えている。

(意見) 代替品が「不可」となっている品目が競争性を阻害している可能性もあると考えられるので、代替品の可否について調達依頼部署に改めて確認してもよいのではないか。

④ 会話型数値解析プログラム MATLAB のソフトウェア保守

⑤ 職員の定期健康診断、健康管理医及びストレスチェック業務の委託

⑥ 国立スポーツ科学センター風洞実験装置の整備点検

(質問) ⑤について、今年度新たに「1 日の受診者数が 150 名を超える規模の健診実績」を競争参加資格として付加した理由は何か。また、その条件を付加しても応札が複数となる可能性はあったのか。

(回答) JSC の受診者数からして必要な資格であり、その資格を満たす者が複数いることはあらかじめ確認している。

(意見) 健康診断については、他法人でも一者応札となっている事例が多いようである。毎年度実施する調達であれば、仕様を早期に確定できると考えられるため、調達時期の前倒しを検討されたい。

⑦ 定期便業務の委託

⑧ 国立霞ヶ丘競技場等一般廃棄物処理業務委託

⑨ 国立霞ヶ丘競技場等産業廃棄物・リサイクル処理業務

(質問) ⑦から⑨までについては、平成 24 年度から 28 年度までの間に 2 者が応札していた時期もあるとのことだが、一者応札となった際にその理由は確認しているか。

(回答) 理由の確認はしていないが、いずれも業務内容は特殊ではないため、再度複数者の応札となる可能性はあると考えている。

(意見) 毎年度実施する調達であれば、仕様を早期に確定できると考えられるため、調達時期の前倒しを検討されたい。

6 審議結果

- ・ 共同調達については、事務的な労力等も考慮し、調達価格の低減に効果のある範囲で実施すること。また、品目については幅広く検討すること。
- ・ 消耗品の調達について、代替品が「不可」となっている品目が競争性を阻害している可能性もあると考えられるので、代替品の可否については調達依頼部署に改めて確認すること。
- ・ 毎年度実施する調達については、できるだけ調達時期を早めることで競争性の確保に努めること。